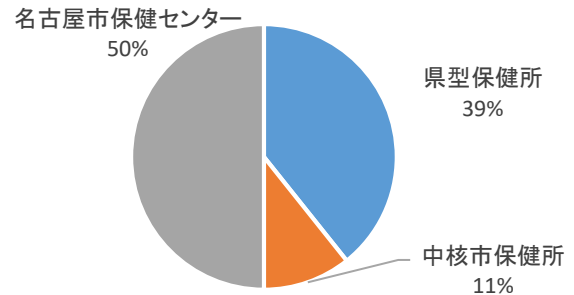


# COVID19緊急調査⑦ 結果

- 1 対象 県内保健所及び名古屋市保健センター(31施設)の統括保健師
- 2 方法 郵送調査
- 3 調査期間 令和3年1月25日～令和3年2月10日
- 4 回答数 28件(回答率 90.3%)
- 5 結果

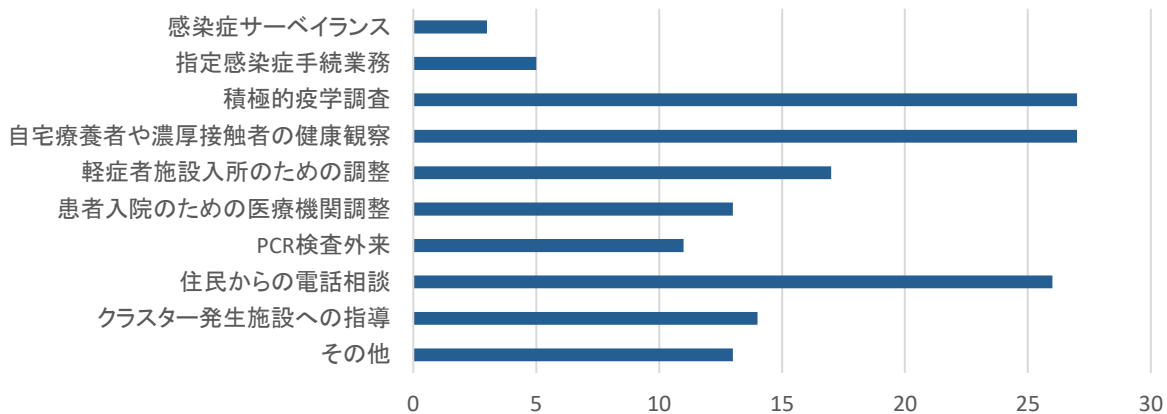
(1) 保健所の型は、次のどれに該当しますか

項目	件数	割合
県型保健所	11	39.3%
中核市保健所	3	10.7%
名古屋市保健センター	14	50.0%
合計	28	100.0%



(2) 新型コロナウイルス感染症対策として、保健師が従事している業務は何ですか。(複数回答)

項目	件数	選択率
感染症サーベイランス	3	10.7%
指定感染症手続業務	5	17.9%
積極的疫学調査	27	96.4%
自宅療養者や濃厚接触者の健康観察	27	96.4%
軽症者施設入所のための調整	17	60.7%
患者入院のための医療機関調整	13	46.4%
PCR検査外来	11	39.3%
住民からの電話相談	26	92.9%
クラスター発生施設への指導	14	50.0%
その他	13	46.4%

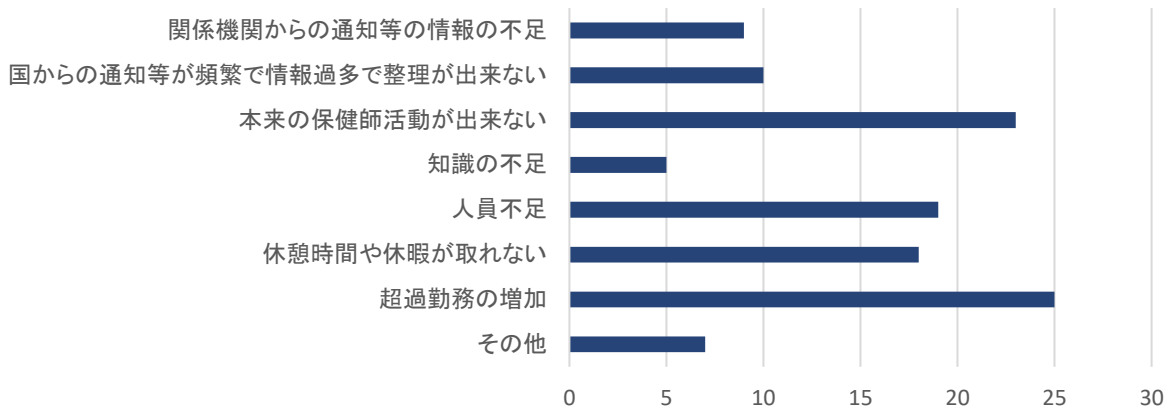


<「その他」の記載内容>

- ・ 住民への啓発事業(予防教育、新聞づくり)
- ・ 陽性者の家庭訪問
- ・ 検査施設へ検体搬送(2件)
- ・ 看護要員として医療機関への搬送同行
- ・ 陽性者の受診調整
- ・ 唾液検査対応
- ・ ワクチン接種
- ・ 予防接種準備業務
- ・ 濃厚接触者の受診調整
- ・ 帰国者フォローアップ名簿作成、入力作業、ハース入力など
- ・ 自宅療養者の生活支援関連業務(配食サービス事務、自宅療養証明書の交付など) (2件)

(3) 新型コロナウイルス感染症対策業務で、苦慮している事は何ですか。（複数回答）

項目	件数	選択率
関係機関からの通知等の情報の不足	9	32.1%
国からの通知等が頻繁で情報過多で整理が出来ない	10	35.7%
本来の保健師活動が出来ない	23	82.1%
知識の不足	5	17.9%
人員不足	19	67.9%
休憩時間や休暇が取れない	18	64.3%
超過勤務の増加	25	89.3%
その他	7	25.0%

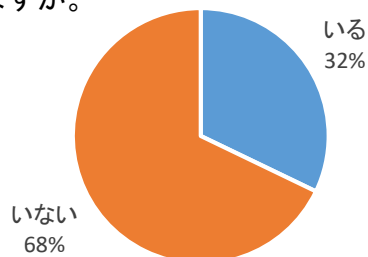


<「その他」の記載内容>

- ・ コロナ患者へ訪問しても、手当がつかない
- ・ 業務量の増加
- ・ 庁内での体制（その都度に応じた）
- ・ 陽性者判明が夕刻な事が多く時間外になりやすい。時間外は対応できる職員に限りがあり職員間の不平等
- ・ 派遣職員が固定されない場合の研修負担
- ・ 休日出勤の振替が入り休暇が取りにくい
- ・ 入院・入所の調整、医師会やその他関係機関との調整、苦情対応

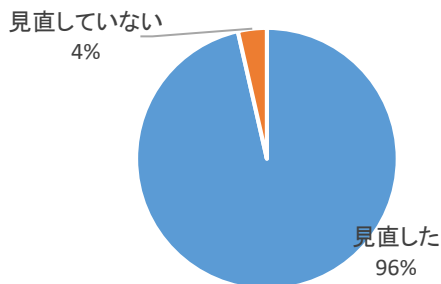
(4) メンタル面で不調をきたしている保健師はいますか。

項目	件数	割合
いる	9	32.1%
いない	19	67.9%
合計	28	100.0%



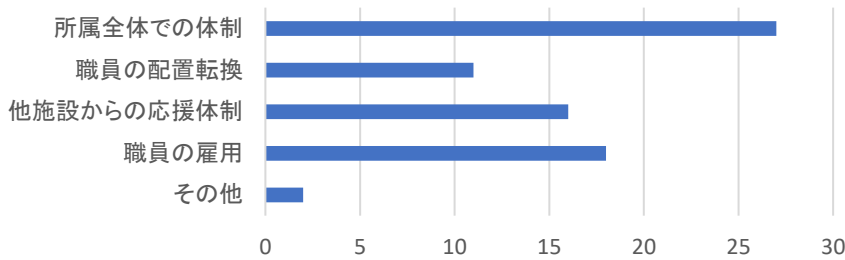
(5) 新型コロナウイルス感染症対策のため、所内体制の見直しをしましたか。

項目	件数	割合
見直した	27	96.4%
見直していない	1	3.6%
合計	28	100.0%



(6) どのような見直しをしましたか。(複数回答)

項目	件数	選択率
所属全体での体制	27	96.4%
職員の配置転換	11	39.3%
他施設からの応援体制	16	57.1%
職員の雇用	18	64.3%
その他	2	7.1%



<「職員の雇用」において雇用した職種>

- ・ 保健師 (5件)
- ・ 看護職 (7件)
- ・ 事務職 (11件)

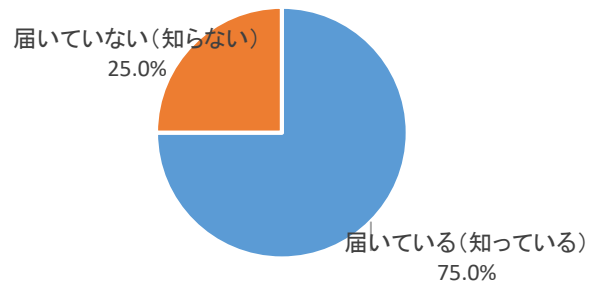
<「その他」の記載内容>

- ・ 他部署からの看護師、保健師の応援
- ・ 派遣会社に委託して看護師を2,3名派遣
- ・ 応援体制 (区役所保健師、管内市町村保健師) (2件)

(7) 愛知県看護協会は、愛知県からの委託事業として以下の事業を行っています。貴施設に事業の情報は届いていますか。

①県が認定したクラスター施設 (医療機関、高齢者施設等) への看護師派遣事業

項目	件数	割合
届いている (知っている)	21	75.0%
届いていない (知らない)	7	25.0%
合計	28	100.0%



②新型コロナウイルス感染防止対策相談窓口事業 (児童福祉施設及び障害者福祉施設を対象)

項目	件数	割合
届いている (知っている)	9	32.1%
届いていない (知らない)	19	67.9%
合計	28	100.0%

